資　料　５－１

道路事業　再評価

一般国道７号　鷹巣大館道路（Ⅱ期）

平成２３年１０月　３日
国土交通省　東北地方整備局

事業名	一般国道7号 鷹巣大館道路（Ⅱ期）	事業種別	一般二次

事業の目的

日本海沿岸東北自動車道は、新潟県新潟市を起点として山形県酒田市、秋田県秋田市を経て東北縦貫自動車道と連結し、青森県青森市に至る延長約320kmの高規格幹線道路である。

鷹巣大館道路（Ⅱ期）は、日本海沿岸東北自動車道に並行する一般国道7号の自動車専用道路であり、日本海沿岸東北自動車道の一部として機能し、都市間所要時間の短縮を図り広域的な連携・交流を促進する高規格幹線道路ネットワークを形成するとともに、主要施設へのアクセス向上等に寄与することを目的としている。

事業の概要

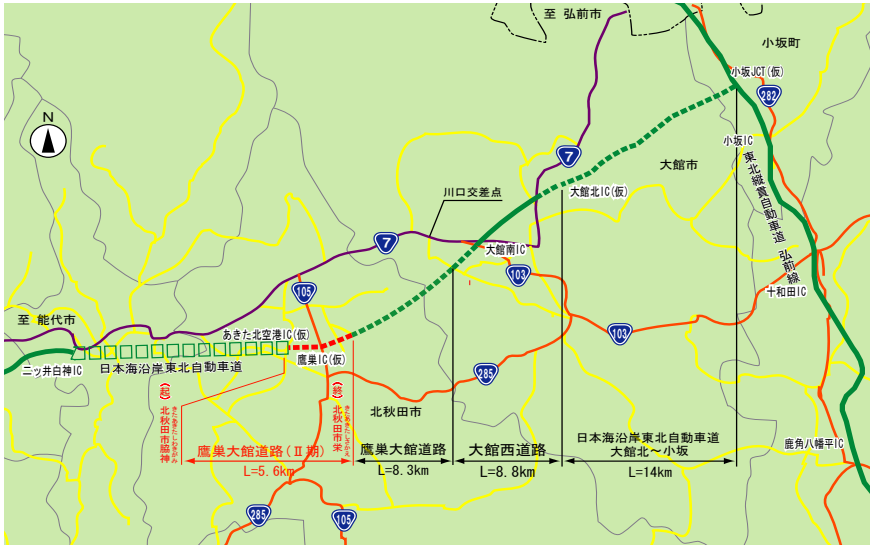
起終点	自：秋田県北秋田市脇神 至：秋田県北秋田市栄		延　長 供用済	5．6　km －　km
道路規格	第1種2級、設計速度 100km/h		幅　員	W=12.0m
事 業 化	平成19年度	都市計画決定	平成14年度	
用地着手	平成20年度	工事着手	平成21年度	

	全体事業費・進捗率			H19 新規採択時 全体事業費 （うち用地費）
	全体事業費 （うち用地費）	執行済み額 （うち用地費）	全体進捗率 （用地費）	
完　成	209億円 （14億円）	31億円 （13億円）	15% （93%）	209億円 （14億円）

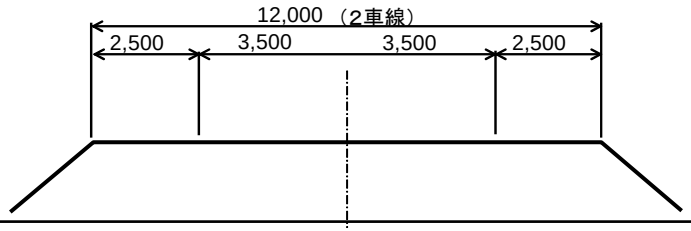


新規採択後5年経過

凡　例
- 評価対象区間
- 高規格幹線道路（供用済み区間）
- 高規格幹線道路（事業中区間）
- 直轄国道
- 補助国道
- 主要地方道・一般県道



【標準横断図】



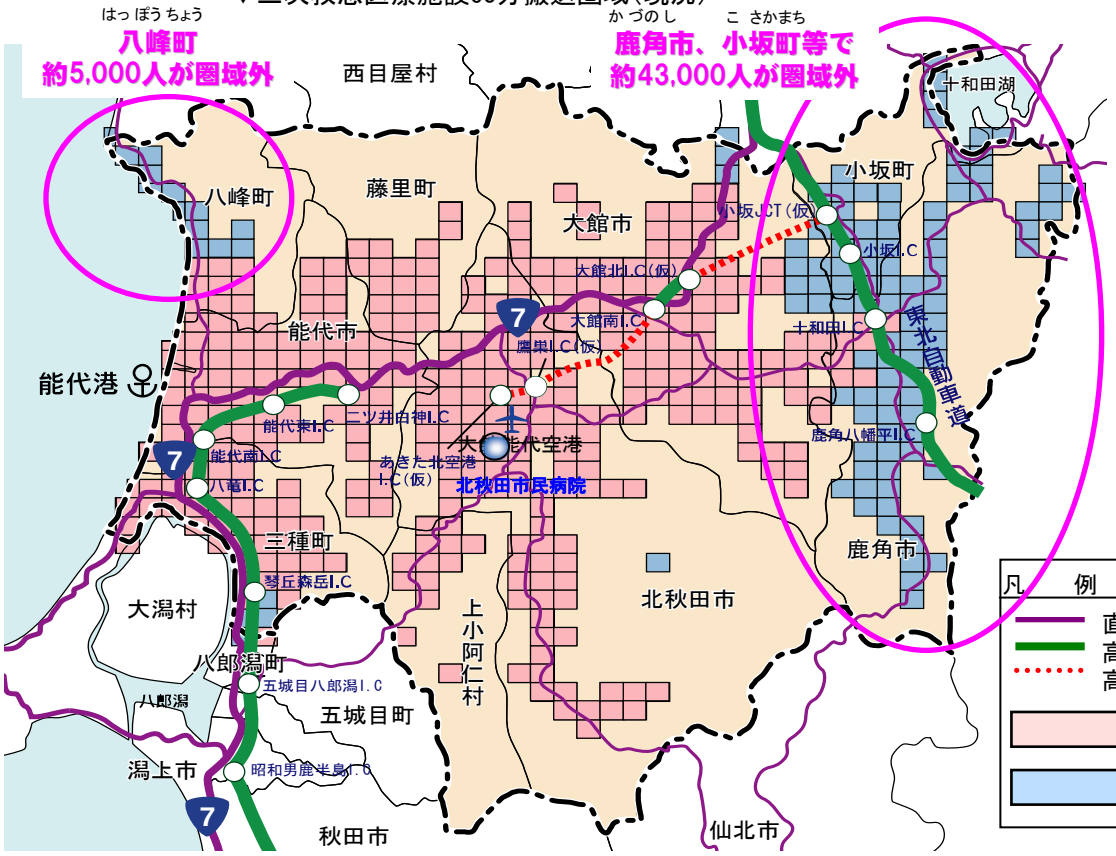
1－①. 地域の状況

県北地域における北秋田市民病院への1時間搬送圏人口は82%

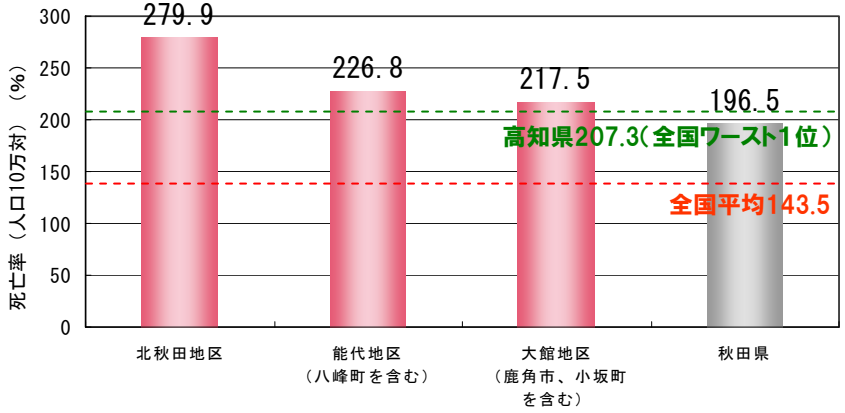
◆三次医療機能を目指す北秋田市民病院が開院するも、1時間搬送圏外に4．8万人が生活。これは県北地域人口の18%に相当し、全国平均の8%を上回る。

◆秋田県の心疾患死亡率は全国平均(143.5)を大幅に上回る。さらに県北地域では、全国ワースト1位の高知県(207.3)をも上回る。

▼三次救急医療施設60分搬送圏域（現況）



▼死因別死亡率（心疾患）（人口10万対）



資料：全国値と秋田県値は平成21年人口動態統計月報年計（概数）（厚生労働省）
地区値は平成21年秋田県衛生統計年鑑



▲北秋田市民病院（H22.4開業）

■北秋田市民病院へのヒアリング結果（H22）
⇒当初は救急救命センター開設の予定であったが、今の状況では医師不足等の問題から不可能である。
⇒非常勤医師は秋田大学と弘前大学からほぼ毎日数名の派遣を受けている。日沿道の開通により、通勤時間が短縮され、非常勤医師が増えることを期待している。

※「秋田県医療保険福祉計画」（H20.4）の中で、「広域的に必要とされる三次医療機能について、残る県北地域において北秋田市民病院への整備を進めます」と位置づけられている

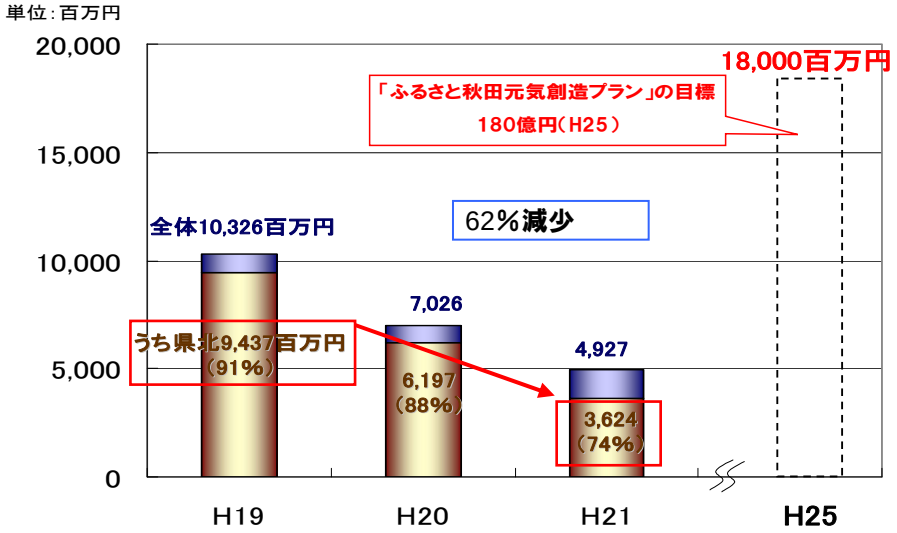
1－②. 地域の状況

リサイクル産業の売上高が減少。目標との差が大幅に拡大

◆地域の産業基盤となるリサイクル産業の売上高がわずか2年で6割減少。

◆取引機会の拡大や輸送コスト削減の面から、リサイクル拠点となる能代港～大館地区～小坂地区～秋田港間の時間短縮が求められている。

▼秋田県環境リサイクル関連対象企業の製造品売上額



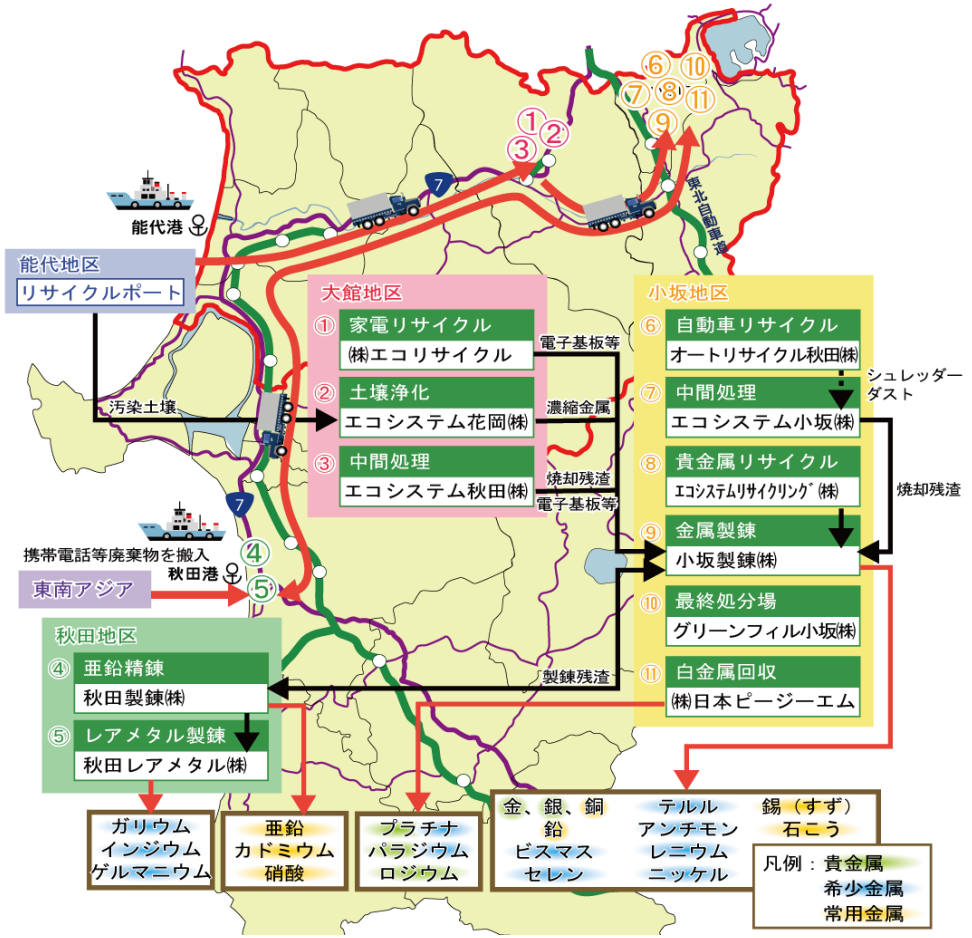
データの出典：H22.9 秋田県 産業労働部 資源エネルギー産業課 ヒアリング

■リサイクル業者へのヒアリング結果

⇒現在、大館市花岡からコンテナ設備に対応する船川港まで1日2往復が限度だが、能代港にコンテナ設備が整備された場合には3往復、更に日沿道が整備されれば4往復が可能となる。

（H22ヒアリング結果より）

▼リサイクル産業の搬出入ルート



資料：あきたエコタウンセンターHPを参考に作成

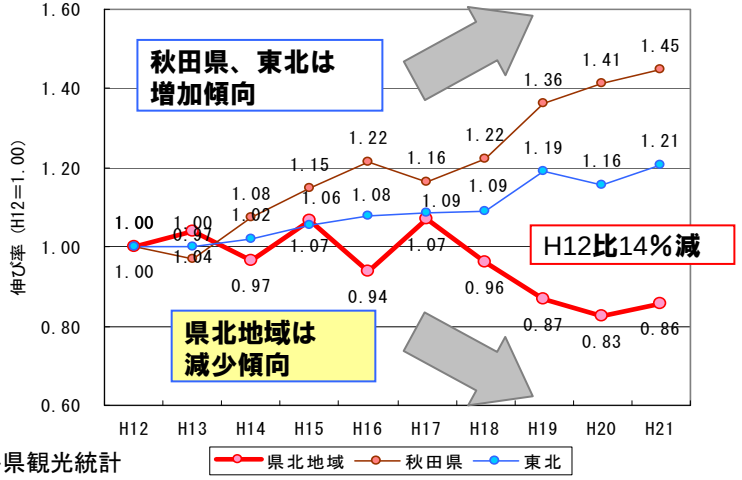
1－③. 地域の状況

県北地域には豊富な観光資源が存在。観光入り込み客数は減少傾向

◆秋田県北地域には自然公園や、入込数が20万人/年を上回る行事が多数存在するも、観光入り込み客数はH12比で14%減少。

◆十和田湖（とわだこ）～八幡平（はちまんたい）～角館（かくのだて）～秋田～男鹿（おが）間の観光流動に比べ、県北地域の流動は少ない。

▼観光入込客数の伸び率



資料：各県観光統計

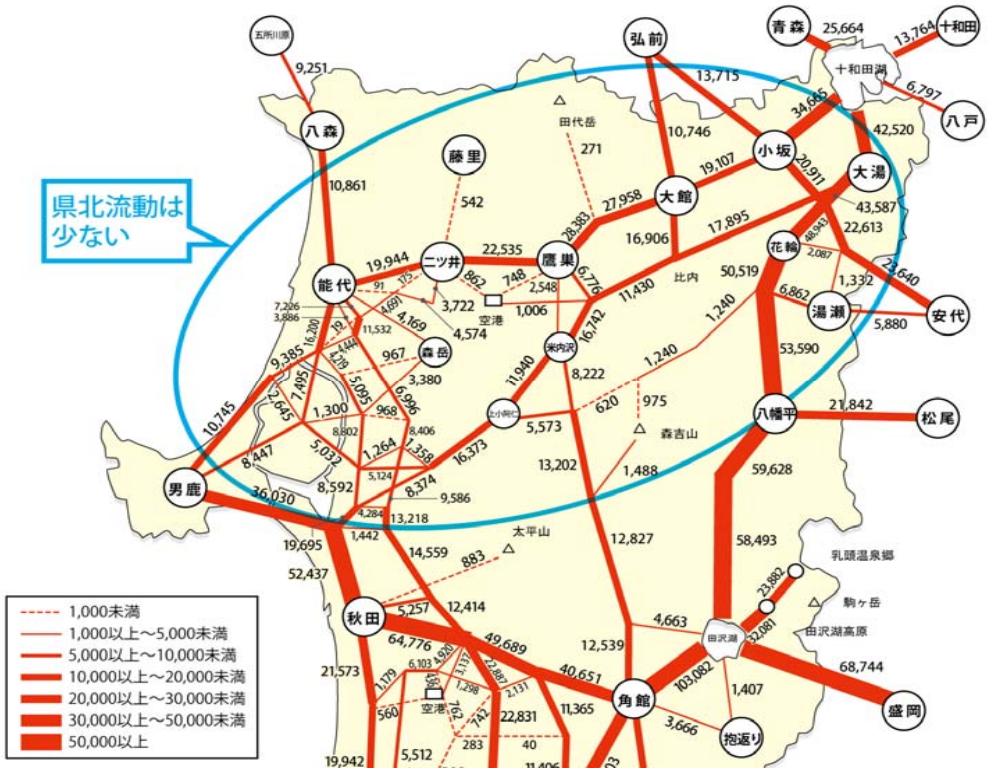
▼主要な観光地とまつり



資料：秋田県観光統計（H21）

・（ ）は観光入込客数。自然公園および入込客数20万人以上の行事

▼秋田県の観光流動（人／年）



資料：H22秋田県観光統計

■（社）十和田八幡平観光物産協会へのヒアリング結果（H22）

⇒大館能代空港（あきた北空港）は九州からの便が無い上、関西便も廃止となるため、観光をPRする上では、陸路の強化が大変重要となる。

⇒日沿道の整備により、青森、秋田、岩手の3県の交通ネットワークが強化され、3県が連携した観光周遊計画が期待できる。

1－④. 地域の状況

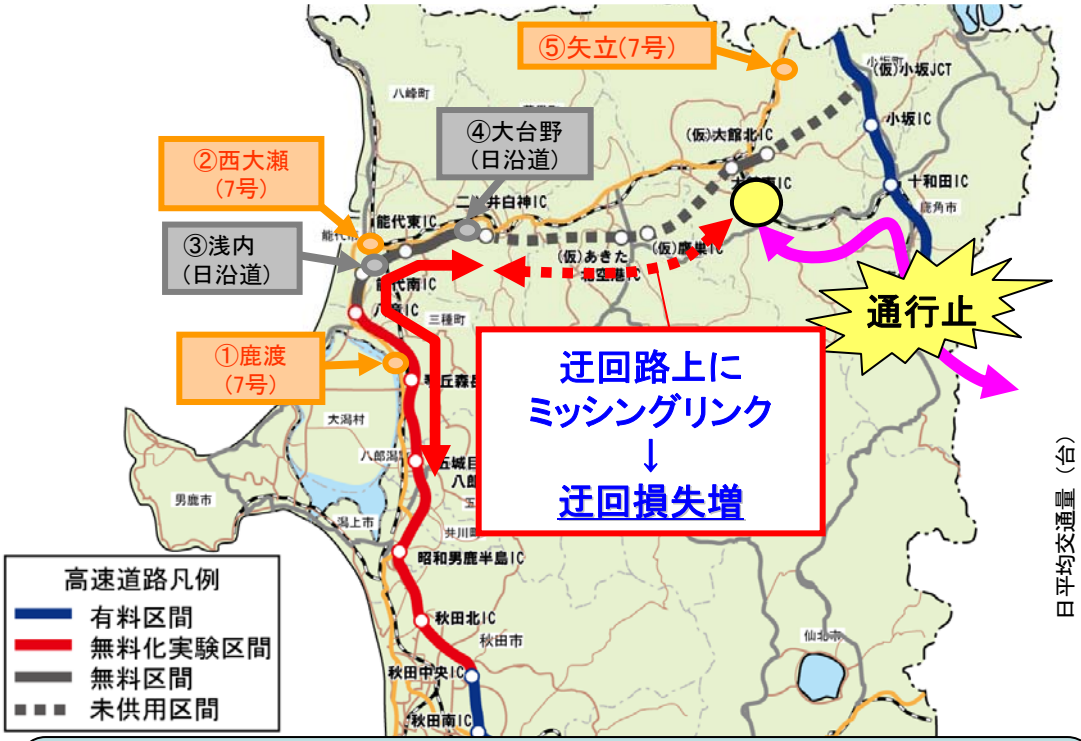
東北縦貫道の代替路線である日沿道にミッシングリンクが存在

◆東日本大震災による東北縦貫道通行止時には、関東地方～大館市間への輸送経路として日沿道が利用された（物流業者へのアンケート調査より）

◆能代付近の日沿道では、東北縦貫道通行止時、大型貨物車の日平均交通量が震災前の1.2倍に増加

◆二ツ井白神IC～大館南IC等、日沿道にはミッシングリンクが存在。このため大館～埼玉県※の所要時間は、日本海回りで11.9時間を要し、東北縦貫道経由（8.3時間）に比べ3.6時間増大。

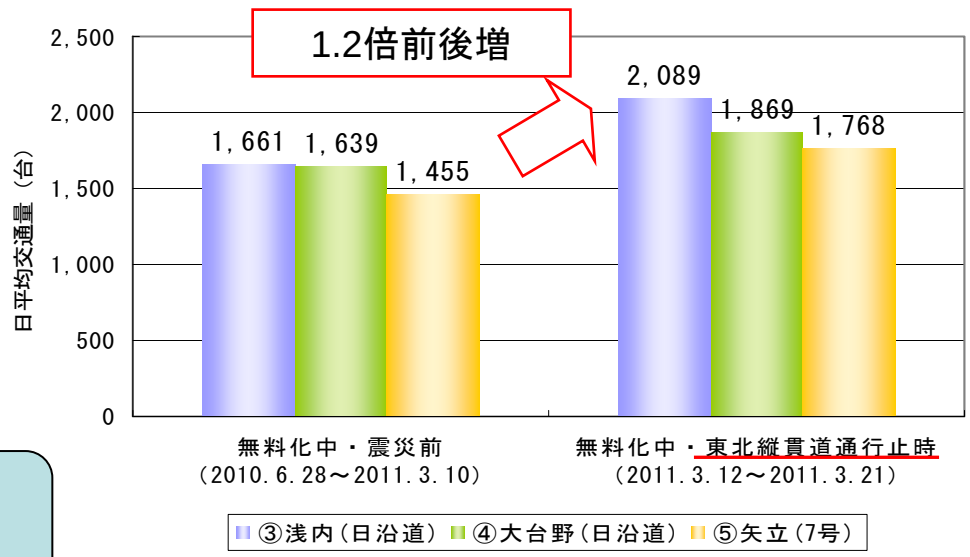
▼ 迂回路と常時観測点の位置



・東北縦貫道経由と比べ、日本海回りは時間が読めない
・日本海周りだと、一般道の走行区間が太平洋側より長く、時間が掛かる
・大館～北秋田まで、国道7号の迂回路が近くに存在しない
（H23 大館市内物流企業アンケート結果より）

※物流業者へのアンケートより、震災時に日沿道への迂回が確認された輸送先

▼大型貨物車交通量増減の推移



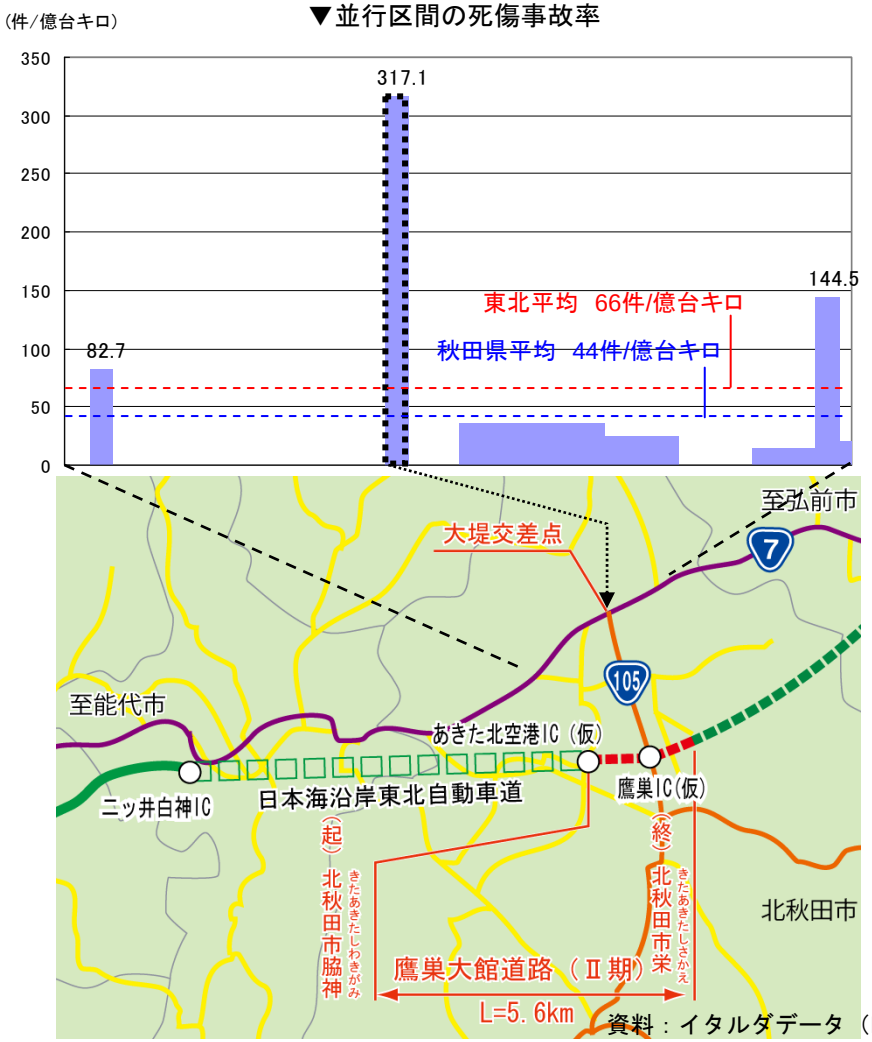
2－①. 道路交通の状況

並行する国道7号大堤交差点では、追突事故が多発

◆鷹巣大館道路（Ⅱ期）に並行する国道7号には、死傷事故率が秋田県平均（44件／億台キロ）、東北平均（66件／億台キロ）を上回る箇所が存在し、大堤交差点での死傷事故率は317.1件／億台キロにのぼる。

◆事故類型別にみると、7割が追突事故で、能代河川国道事務所管内平均と比べ追突事故の割合が高い。

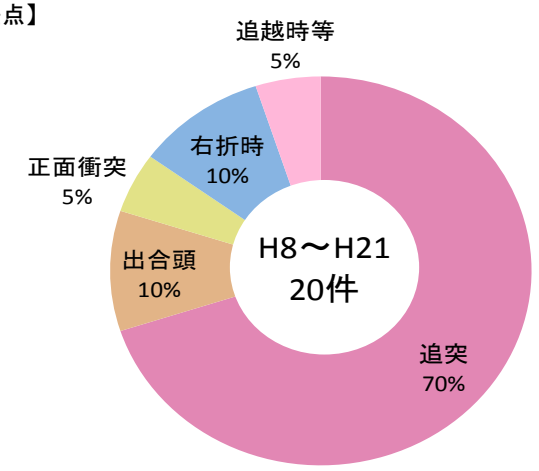
▼並行区間の死傷事故率



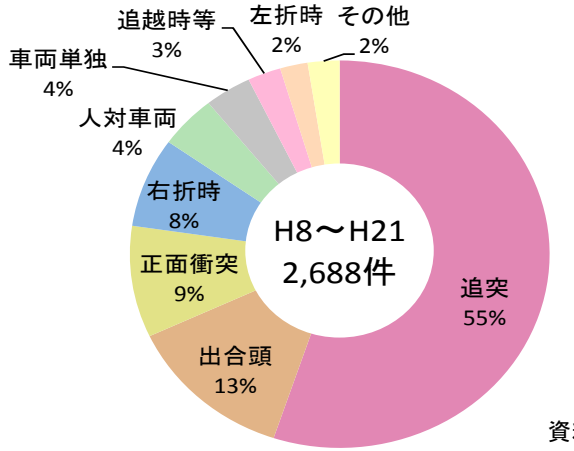
資料：イタルダデータ（H18～21）

▼死傷事故発生状況（H8～H21）

【大堤交差点】



【参考・能代管内】



資料：イタルダデータ

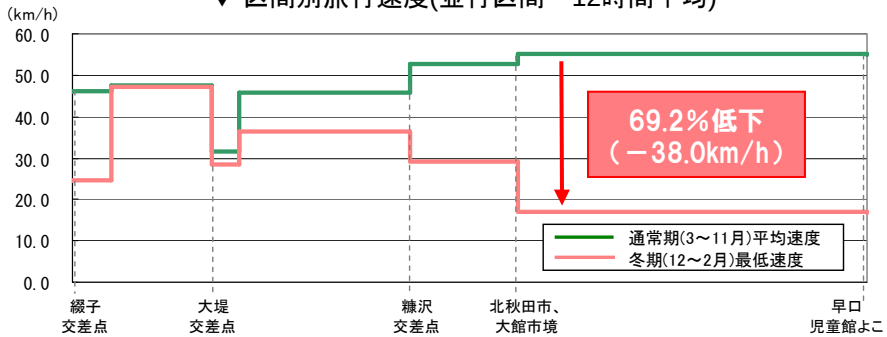
2－②. 道路交通の状況

並行する国道7号では、冬期の旅行速度が通常期よりも最大69%低下

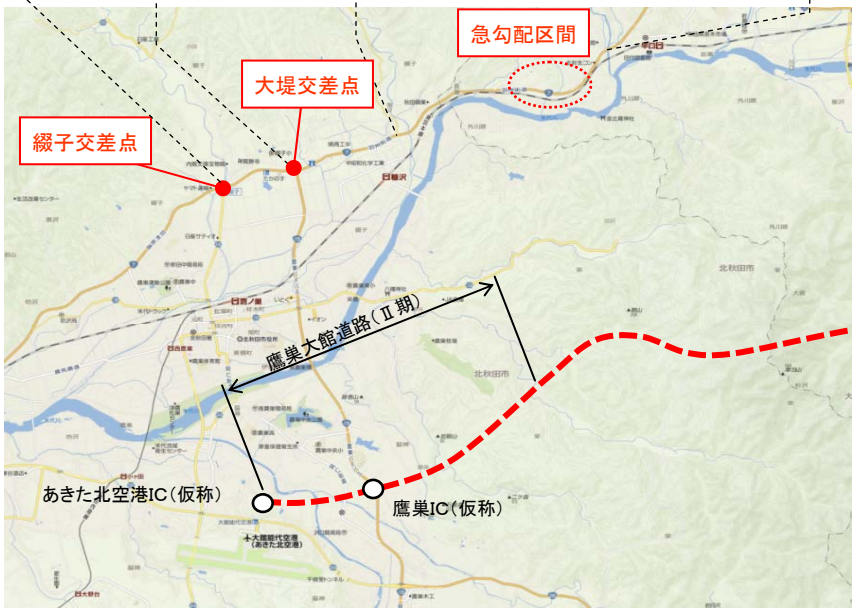
◆並行区間では、日中の平均旅行速度が冬期に54%低下。

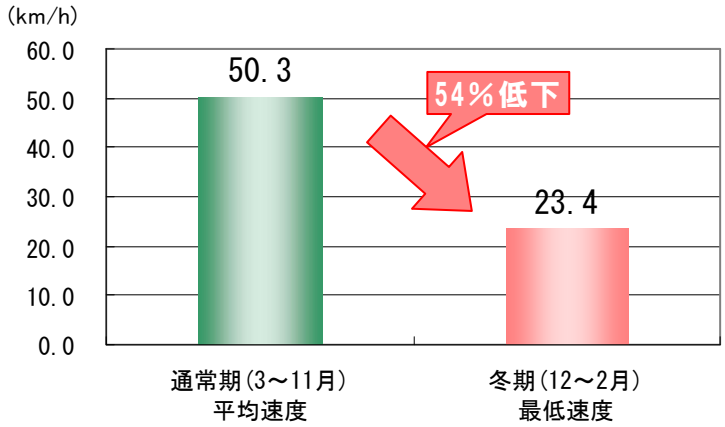
◆区間別にみると、大館市長坂地内では急勾配区間（縦断勾配が5%）が存在し、速度が最大で69%も低下している。

▼ 区間別旅行速度(並行区間・12時間平均)



資料：民間プローブデータ （H22年度*）





▲ 並行区間の平均旅行速度(12時間平均)

資料：民間プローブデータ （H22年度*）
*平成23年3月10日まで集計対象

■観光関連団体へのヒアリング結果
⇒国道7号は通勤時間帯など普段でも渋滞があるところなので、日沿道の開通で渋滞を気にせず空港まで行けるようになれば非常に便利になる

（H22ヒアリング　大館能代空港利活用促進協議会）

3. 地域及び道路の課題とその原因、それらを踏まえた政策目標

	課　題	原　因	政策目標
地域について	【救急医療体制】 県北地域の基幹病院である北秋田市民病院に60分で到達できない地区が存在 （秋田県北地域の18%→全国平均は8%）	【救急医療体制】 救急医療施設への高速アクセスが不十分	・高次医療施設への速達性の確保
	【リサイクル産業】 将来的に地域の産業基盤となることが期待されるリサイクル産業の売上高が減少 （H19→H21＝ 62%減少）	【リサイクル産業】 リサイクル関連企業間の連携基盤が不十分	・リサイクル関連拠点間の連携向上
	【観光】 世界遺産白神山地（しらかみ）等の魅力的な観光地・景観を有する一方で、観光入り込み客数は減少傾向 （H12→H21＝14%減少）	【観光】 高規格幹線道路網が未整備であり、観光地間の時間距離が長い	・観光拠点間の速達性確保
	【災害】 迂回路である日沿道が全線で供用されていないため、東北縦貫道異常時の迂回による所要時間の増加が拡大 （東北縦貫道8.3時間、日本海回り11.9時間）	【災害】 高規格幹線道路の未整備区間が存在	・高規格幹線道路ネットワーク上のミッシングリンク解消による迂回損失の抑制
道路について	【事故】 追突事故が多発しており、死傷事故率は非常に高い （317．1件/億台キロ→能代河国管内7位）	【事故】 長トリップ、短トリップ交通が混在	・通過交通の転換による安全性の向上
	【冬期交通状況】 冬期間において路面状況等の影響により、速度低下が発生（年平均に比べ最大68%低下）	【冬期交通状況】 現道区間に急勾配区間（長坂地区・縦断勾配5%）があり、道路線形が悪い	・年間を通じて信頼性の高い交通の確保

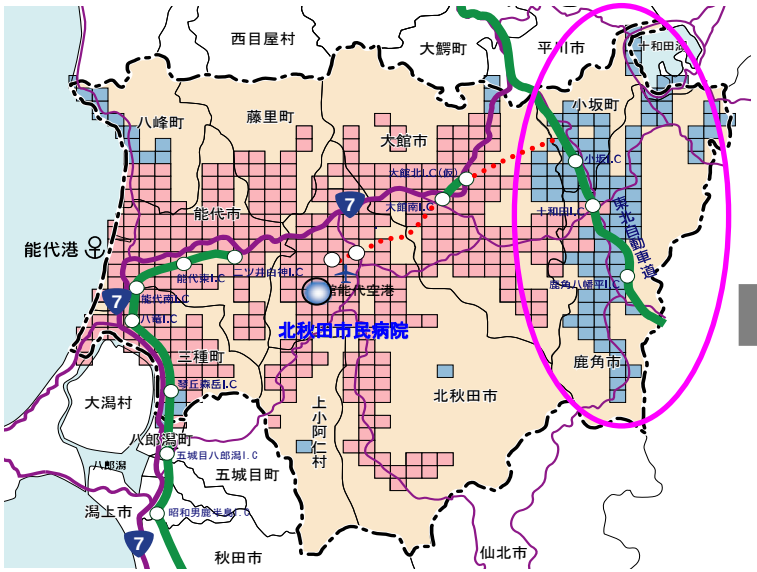
4－①. 期待される整備効果の例

鹿角市、小坂町等で約1万8千人の北秋田市民病院60分搬送圏域外人口を解消

【高次医療施設（北秋田市民病院）への速達性確保】

《現　況》

鹿角市、小坂町等で
約43,000人が圏域外



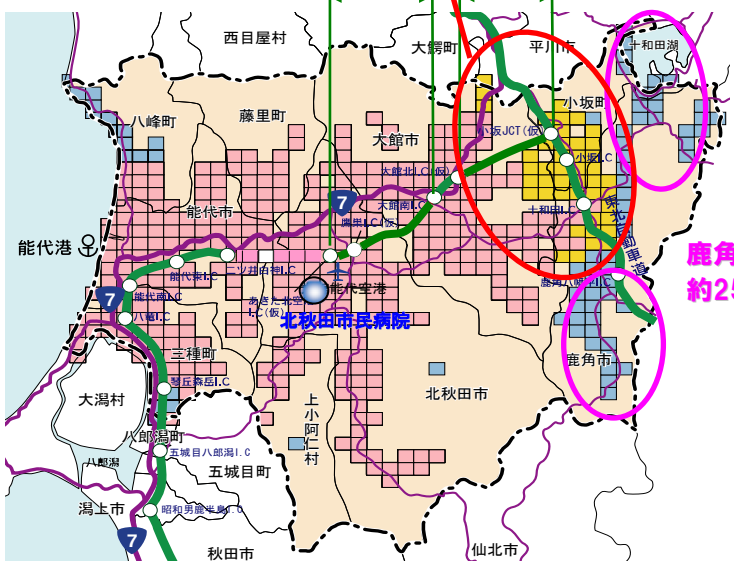
60分圏域外人口約48,000人　県北地域の18％

《事業中区間整備後》

鹿角市、小坂町等で約18,000人解消

事業中区間が供用
（延長約17km）

事業中区間が供用
（延長約16km）



鹿角市、小坂町等で
約25,000人が圏域外

60分圏域外人口約30,000人　県北地域の11％

北秋田市民病院60分搬送圏域の凡例
- 現況
- 上に加え事業中区間整備後
- 圏域外

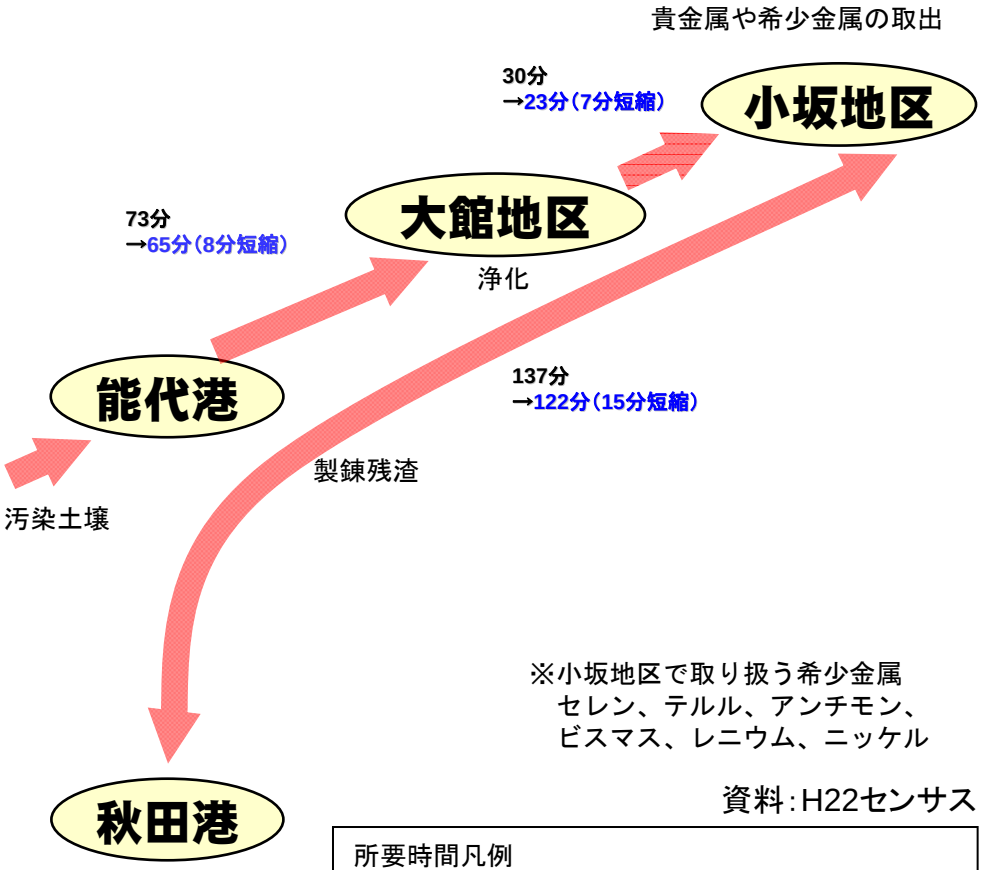
路線凡例
- 直轄国道
- 高規格幹線道路（供用区間）
- 高規格幹線道路（事業中区間）

4－②. 期待される整備効果の例

【リサイクル関連拠点間の連携向上】

（例）リサイクル関連企業間の時間短縮

運搬回数増加による取引量拡大で、売上額増加に期待（業者ヒアリングより）



※小坂地区で取り扱う希少金属
セレン、テルル、アンチモン、
ビスマス、レニウム、ニッケル

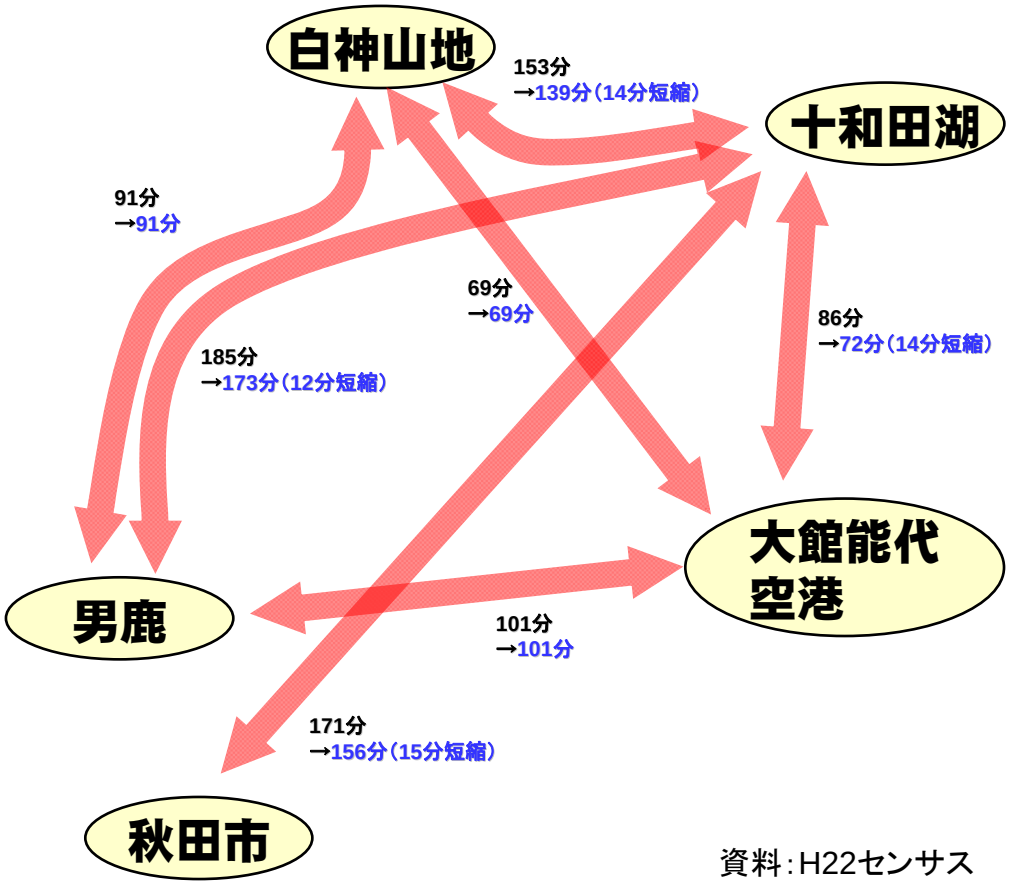
資料：H22センサス

所要時間凡例
○分：現況
○分：事業中区間供用後（現況からの短縮時間）

【観光拠点間の速達性確保】

（例）主な観光地の時間短縮

観光拠点間の時間短縮による周遊箇所の増加で、地域活性化に期待



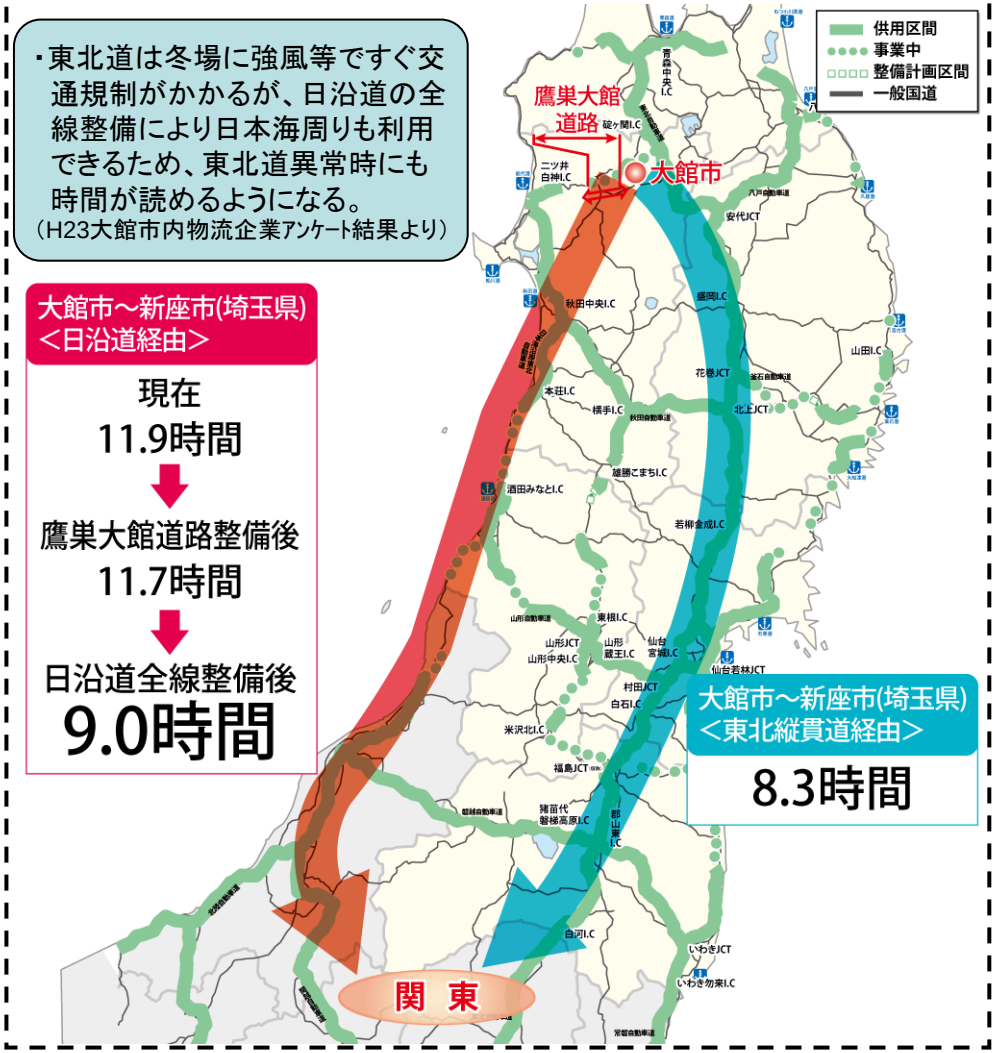
資料：H22センサス

4－③. 期待される整備効果の例

災害時にも機能を発揮する高規格幹線道路ネットワークの構築

【迂回による損失時間の抑制】

・東北道は冬場に強風等ですぐ交通規制がかかるが、日沿道の全線整備により日本海周りも利用できるため、東北道異常時にも時間が読めるようになる。
（H23大館市内物流企業アンケート結果より）



【高規格幹線道路利用による救援活動、避難活動の迅速化】

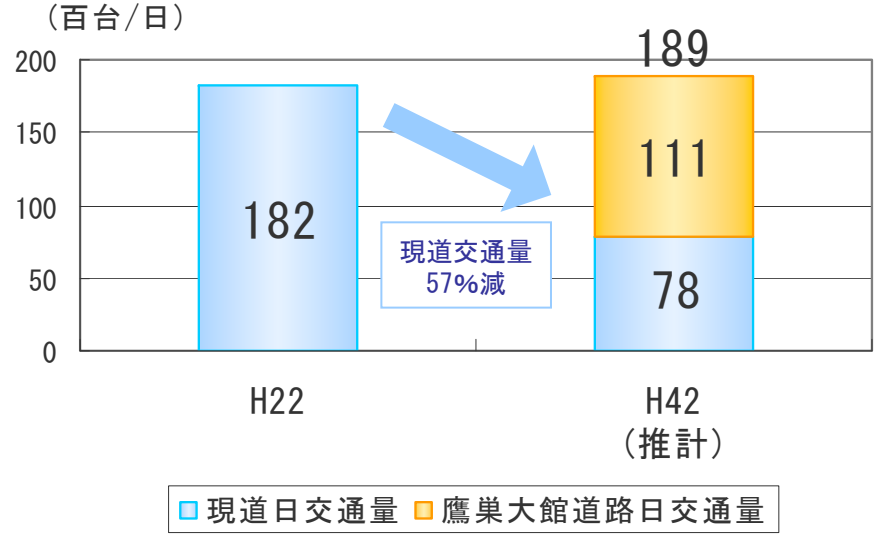


資料：H17道路交通センサス
※大館市～新座市：物流企業アンケート（H23）より、震災時に日本海周りへの迂回が確認された区間

4－④. 期待される整備効果の例

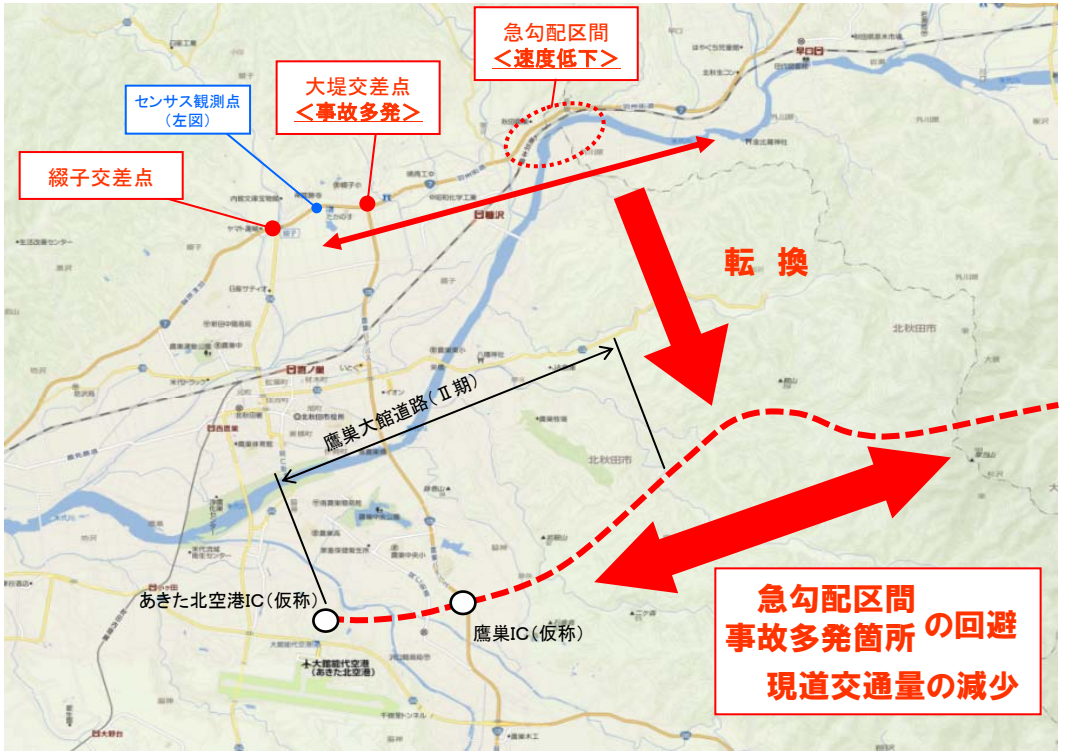
・鷹巣大館道路への通過交通転換による現道区間の旅行速度向上、安全性向上
・急勾配区間（縦断勾配5%）の回避による速度向上および信頼性の高い交通路の確保

▼鷹巣大館道路への転換予測



資料：H22：道路交通センサス
（センサス番号5300070800　観測点：北秋田市綴子）
H42（推計）：交通量推計値（センサス番号5300070800と同じ地点の推計値）

【旅行速度】
・現道区間の交通量減→速度向上
・急勾配区間の回避



【安全性】
・現道区間の交通量減→事故件数減
・事故多発箇所の回避

6. 事業の投資効果

○費用便益比（B／C）

※下表の数値は、基準年（平成23年）における現在価値換算した金額を記載。

計画交通量(平成42年度)　・鷹巣大館道路（Ⅱ期）＝10，800台／日　現道＝7，800台／日

【全　線】

	基本ケース	感度分析					
		交通量変動		事業費変動		事業期間変動	
		＋10%	－10%	＋10%	－10%	＋20%	－20%
費用C（現在価値）	***209***	***209***	***209***	***226***	***192***	***207***	***215***
事　業　費(億円)	176	176	176	194	159	177	180
維持修繕費(億円)	33	33	33	33	33	30	36
便益B（現在価値）	***619***	***658***	***569***	***619***	***619***	***564***	***680***
走行時間短縮便益(億円)	455	491	414	455	455	414	500
走行経費減少便益(億円)	123	125	116	123	123	113	135
交通事故減少便益(億円)	40	43	38	40	40	37	45
費用便益費　B／C	***3．0***	***3．1***	***2．7***	***2．7***	***3．2***	***2．7***	***3．2***

【残事業】

	基本ケース	感度分析					
		交通量変動		事業費変動		事業期間変動	
		＋10%	－10%	＋10%	－10%	＋20%	－20%
費用C（現在価値）	***178***	***178***	***178***	***192***	***163***	***176***	***180***
事　業　費(億円)	145	145	145	159	130	145	145
維持修繕費(億円)	33	33	33	33	33	32	34
便益B（現在価値）	***619***	***658***	***569***	***619***	***619***	***591***	***649***
走行時間短縮便益(億円)	455	491	414	455	455	434	477
走行経費減少便益(億円)	123	125	116	123	123	118	129
交通事故減少便益(億円)	40	43	38	40	40	39	42
費用便益費　B／C	***3．5***	***3．7***	***3．2***	***3．2***	***3．8***	***3．4***	***3．6***

○経済的純現在価値（ENPV）　【全　線】 410億円　【残事業】 441億円

○経済的内部収益率（EIRR）　【全　線】 12．5%　【残事業】 14．2%

○新規事業採択（H19）時の計画交通量・費用便益比

【計画交通量】 鷹巣大館道路（Ⅱ期）＝13，000台／日　【費用便益比】（全体）3．9

7. 事業の進捗状況について

○事業進捗状況

・鷹巣IC（仮）～栄間は接続する鷹巣大館道路（北秋田市栄～大館市櫃崎）との同時供用で、顕著な整備効果を発揮するため同時供用として調整を図っている。

○環境影響評価

・評価対象区間については、環境影響評価実施要綱等に基づく環境影響評価は、実施していない。

・ただし、平成14年度の都市計画決定にあたり、事業者が任意で実施した環境調査における予測評価の結果、大気質、騒音、振動及び動物、植物のいずれもが、環境保全目標を満足している。

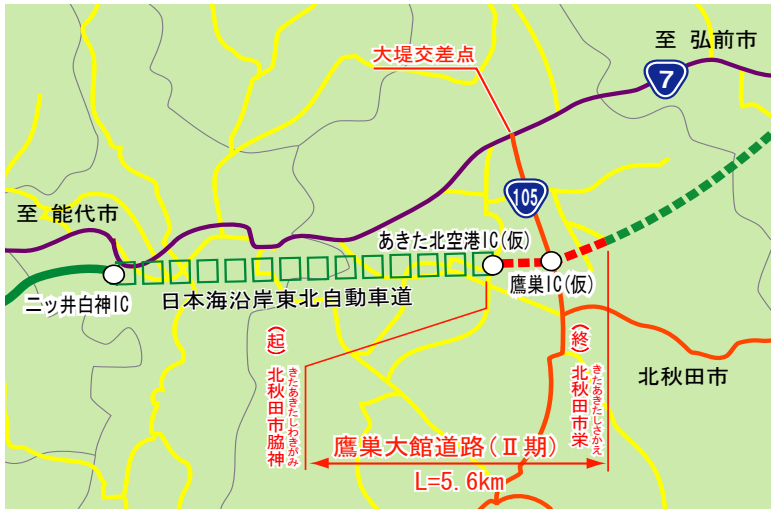
・工事中に現段階で予測し得なかった環境保全上の問題が生じた場合における原因究明及びその結果を踏まえた措置については、必要に応じ関係機関と協力しつつ実施する。

○事業採択時より再評価実施までの周辺環境等の変化

・この事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変更はない。

8. 供用予定等今後の事業の見通し

・北秋田市脇神～栄間（延長5.6km）について、早期供用を目指す。



9. コスト縮減や代替案立案等の可能性について

・水路ボックスのプレキャスト化によるコスト縮減

地方公共団体等の意見	秋田県知事の意見 〇事業について、継続で異存ありません。 県民の安全・安心の確保、地域活性化を図るため、一層の事業推進をお願いします。 他に、以下の団体等から、鷹巣大館道路を含む日本海沿岸東北自動車道の整備促進について要望あり。 〇秋田県（秋田県知事） 〇秋田県北部国道7号整備促進期成同盟会（能代市長） 〇日本海沿岸東北自動車道建設促進秋田県北部期成同盟会（大館市長） 〇日本海沿岸東北自動車道建設促進秋田県北部期成同盟会（大館市長・鹿角副市長） 〇北秋田市日沿道・あきた北空港～二ツ井白神間建設促進期成同盟会（北秋田市長） 〇能代港湾振興会（能代市長） 〇大館商工会議所（会頭） 〇能代商工会議所（会頭） 〇日本海沿岸東北自動車道建設促進フォーラム（東北経済連合会長） 〇株式会社伊藤技研（代表取締役社長） 〇秋北バス株式会社（代表取締役社長） 〇秋田エコプラッシュ株式会社（代表取締役社長） 〇フレッシュシステム（取締役企画室長） 〇石垣鐵工（代表取締役） 〇能代港リサイクルセンター（代表取締役）
対応方針	原案　事業継続 （理由） 高規格幹線道路ネットワークを形成するとともに、北秋田市周辺の主要施設へのアクセス向上等、早期整備の必要性が高い。

資　料　５－２

道路事業　再評価

一般国道７号　鷹巣大館道路（Ⅱ期）

平成２３年１０月　３日
国土交通省　東北地方整備局

建　政　－　８５７
平成２３年　９月２８日

国土交通省東北地方整備局長
徳 山　　日 出 男　　様

秋 田 県 知 事
佐 竹　　敬 久

東北地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）の作成に係る意見照会について（回答）

平成２３年９月２８日付け国東整企画第４１号で照会のありました以下の事業について、継続で異存ありません。

県民の安全・安心の確保、地域活性化を図るため、一層の事業推進をお願いします。

事　業　名		備　考
一般国道７号	下浜道路	
一般国道７号	秋田南バイパス	
一般国道７号	鷹巣大館道路（Ⅱ期）	
一般国道１３号	神宮寺バイパス	
一般国道４６号	角館バイパス	

担当：建設交通政策課
企画・広報班 [redacted]
電話：018 － 860 － 2416
FAX ：018 － 860 － 3800

様式－２

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・ＢＰ・その他の別
一般国道７号	鷹巣大館道路（Ⅱ期）	L=5.6km	二次改築	ＢＰ

計画交通量（台/日）	車線数	事業主体
10,800	2	東北地方整備局

① 費　用

	事　業　費	維持管理費	合　　計
基 準 年	平成23年度		
単純合計	200億円	97億円	297億円
うち残事業分	169億円	97億円	266億円
基準年における現在価値（C）	176億円	33億円	209億円
うち残事業分	145億円	33億円	178億円

② 便　益

	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	合　　計
基 準 年	平成23年度			
供 用 年	平成30年度			
単年便益（初年便益）	30億円	8.0億円	2.7億円	41億円
基準年における現在価値（B）	455億円	123億円	40億円	619億円
うち残事業分	455億円	123億円	40億円	619億円

③ 結　果

費用便益比（事業全体）	3.0
経済的純現在価値（事業全体）	410
経済的内部収益率（事業全体）	12.5%
費用便益比（残事業）	3.5
経済的純現在価値（残事業）	441
経済的内部収益率（残事業）	14.2%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感 度 分 析 （残事業を対象）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（Ｂ／Ｃ）
交通量	10,800台/日	±10%	3.2～3.7
事業費	169億円	±10%	3.2～3.8
事業期間	6年	±20%	3.4～3.6

様式－３①

交通状況の変化

事業名：一般国道７号　鷹巣大館道路Ⅱ期（全体・残事業）

（推計時点　　Ｈ４２年）

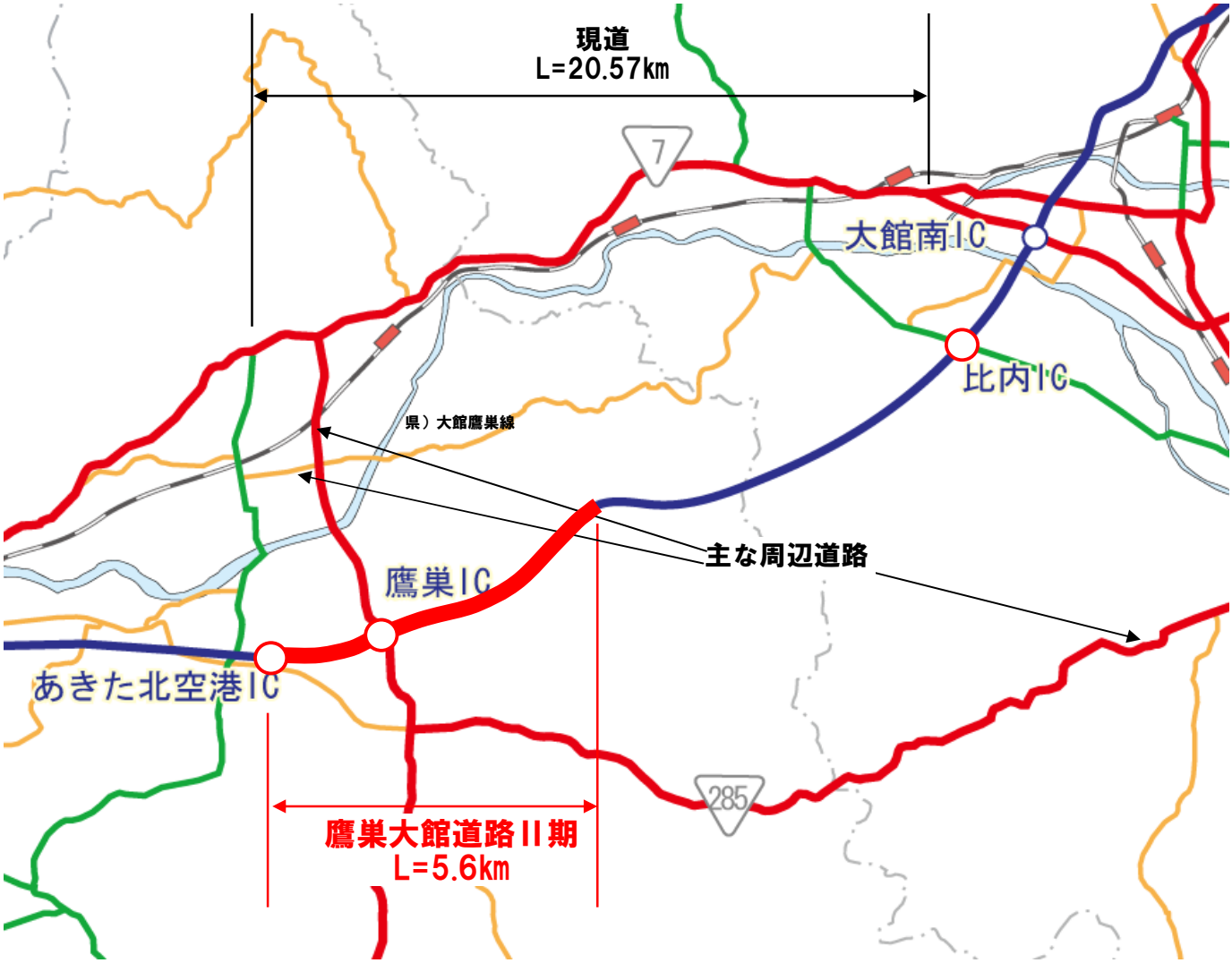
				整備なし(A)	整備あり(B)
①新設・改築道路［バイパス等］：5.60km		交通量	[台/日]	0	10,800
		走行時間	[分]	0	5
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	10.25
②主な周辺道路	現道(国道７号)：20.57km	交通量	[台/日]	9,100	6,300
		走行時間	[分]	34	31
		走行時間費用	[億円/年]	57.37	33.43
	国道285号：2.62km	交通量	[台/日]	11,700	9,600
		走行時間	[分]	7	5
		走行時間費用	[億円/年]	15.51	8.96
	国道105号：1.25km	交通量	[台/日]	9,200	9,000
		走行時間	[分]	2	2
		走行時間費用	[億円/年]	3.45	3.25
	県）大館鷹巣線:0.47km	交通量	[台/日]	7,400	4,900
		走行時間	[分]	1	1
		走行時間費用	[億円/年]	1.53	0.83
③その他道路合計：5285.95km		走行時間費用	[億円/年]	12,441.94	12,437.48

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益
合計：5316.46km	走行時間短縮便益	[億円/年]	12,519.80	12,494.20	25.60

※ 四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

事業名：一般国道７号　鷹巣大館道路Ⅱ期（全体・残事業）

【 図面（①、②に該当する道路）】



様式－３②

費用便益分析の条件

事業名：一般国道7号　鷹巣大館道路Ⅱ期（全体・残事業）

（2）

項目				チェック欄
算出マニュアル		費用便益分析マニュアル （平成20年11月　国土交通省　道路局　都市・地域整備局）		■
		その他		□
分析の基本的事項		分析対象期間		50年間
		社会的割引率		4%
		基準年次		平成23年
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計		■（平成42年）
		複数時点での推計		□
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計		■
		整備の有無のいずれかのみ推計		□ 有　□ 無
		いずれかのみの推計の場合	いずれかのみの推計とした理由を記載	
	推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 （三段階推定法）		■ （H17センサス）
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 （四段階推定法）		□
		その他（　　）		□
	開発交通量の考慮	無		■
		有		□
		有の場合のみ	考慮した開発交通量（トリップ数）	（　）台ﾄﾘｯﾌﾟ／日
			考慮した理由を記載	
	配分交通量の推計手法	Q－V式を用いた配分		□
		転換率式を用いた配分		□
		Q－V式と転換率式の併用による配分		■
		均衡配分（リンクパフォーマンス関数を用いた配分）		□
		簡易手法		□
		簡易手法の採択理由	小規模事業である	□
			山間部海岸部で併行道路が少ない	□
			その他（　　）	
		簡易手法の考え方（将来交通量の設定方法等）		
		その他（　　）		□
	速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定		■
		採用理由を記載	交通量が、交通容量（Qmax～Qmin）以上の路線、交通容量（Qmin～Qmax）の路線、等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。	
		最終配分の速度		□
		採用理由を記載		
		その他（　　）		□

事業名:一般国道7号　鷹巣大館道路Ⅱ期(全体・残事業)

(3)

項目				チェック欄
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない		■
		考慮する		□
		考慮する場合のみ	面的に考慮	□
			対象路線のみ考慮	□
			採用した休日係数	(　　) %
	災害等による通行止めの影響	考慮しない		□
		考慮する		■
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数	(0.04) 日
			当該区間の全面通行止め日数より設定(H17～21平均)	
			とり止め交通を考慮する	□
			当該区間が全面通行止めになった場合でも迂回路が確保されるため考慮しない	
	冬期交通の影響	考慮しない		□
		考慮する		■
		考慮する場合のみ	採用した冬期日数	(89) 日
			当該区間を管轄する大館維持出張所の除雪稼動日数より設定(H17～21平均)	
			冬期の走行速度と交通容量の関係	
			旅行速度調査より道路種別に応じて冬期速度低下率を算出し、配分速度を補正	
	交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定		■
		その他 (　　)		□
	車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用		■
		独自に設定した値を使用		□
	車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用		■
		独自に設定した値を使用		□
	交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮		■
		中央分離帯の有無を考慮しない		□
	走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない		■
		考慮する		□
	その他			

事業名:一般国道7号　鷹巣大館道路Ⅱ期(全体・残事業)

(4)

項目			チェック欄
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	■
		標準投資パターンを採用	□
		その他(　　)	□
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載 当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出	
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	■
	その他		

4．その他

様式－４

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名:鷹巣大館道路Ⅱ期(全体)

単価(億円)	延長(km)	単純価値(億円)
0.36	5.6	2.04

年次	年度	割戻率	GDP デフレータ	事業費(億円) 単純価値	事業費(億円) 現在価値	維持管理費(億円) 単純価値	維持管理費(億円) 現在価値
−11年目	H 19	1.1699	91.7000	0.19	0.22		
−10年目	H 20	1.1249	91.2000	9.92	11.01		
−9年目	H 21	1.0816	90.0000	6.56	7.10		
−8年目	H 22	1.0400	90.0000	2.95	3.07		
−7年目	H 23	1.0000	90.0000	11.50	11.50		
−6年目	H 24	0.9615	90.0000	14.41	13.86		
−5年目	H 25	0.9246	90.0000	13.05	12.07		
−4年目	H 26	0.8890	90.0000	35.56	31.61		
−3年目	H 27	0.8548	90.0000	35.24	30.12		
−2年目	H 28	0.8219	90.0000	44.91	36.91		
−1年目	H 29	0.7903	90.0000	25.41	20.08		
供用年次	H 30	0.7599	90.0000			1.94	1.47
1年目	H 31	0.7307	90.0000			1.94	1.42
2年目	H 32	0.7026	90.0000			1.94	1.36
3年目	H 33	0.6756	90.0000			1.94	1.31
4年目	H 34	0.6496	90.0000			1.94	1.26
5年目	H 35	0.6246	90.0000			1.94	1.21
6年目	H 36	0.6006	90.0000			1.94	1.17
7年目	H 37	0.5775	90.0000			1.94	1.12
8年目	H 38	0.5553	90.0000			1.94	1.08
9年目	H 39	0.5339	90.0000			1.94	1.04
10年目	H 40	0.5134	90.0000			1.94	1.00
11年目	H 41	0.4936	90.0000			1.94	0.96
12年目	H 42	0.4746	90.0000			1.94	0.92
13年目	H 43	0.4564	90.0000			1.94	0.89
14年目	H 44	0.4388	90.0000			1.94	0.85
15年目	H 45	0.4220	90.0000			1.94	0.82
16年目	H 46	0.4057	90.0000			1.94	0.79
17年目	H 47	0.3901	90.0000			1.94	0.76
18年目	H 48	0.3751	90.0000			1.94	0.73
19年目	H 49	0.3607	90.0000			1.94	0.70
20年目	H 50	0.3468	90.0000			1.94	0.67
21年目	H 51	0.3335	90.0000			1.94	0.65
22年目	H 52	0.3207	90.0000			1.94	0.62
23年目	H 53	0.3083	90.0000			1.94	0.60
24年目	H 54	0.2965	90.0000			1.94	0.58
25年目	H 55	0.2851	90.0000			1.94	0.55
26年目	H 56	0.2741	90.0000			1.94	0.53
27年目	H 57	0.2636	90.0000			1.94	0.51
28年目	H 58	0.2534	90.0000			1.94	0.49
29年目	H 59	0.2437	90.0000			1.94	0.47
30年目	H 60	0.2343	90.0000			1.94	0.45
31年目	H 61	0.2253	90.0000			1.94	0.44
32年目	H 62	0.2166	90.0000			1.94	0.42
33年目	H 63	0.2083	90.0000			1.94	0.40
34年目	H 64	0.2003	90.0000			1.94	0.39
35年目	H 65	0.1926	90.0000			1.94	0.37
36年目	H 66	0.1852	90.0000			1.94	0.36
37年目	H 67	0.1780	90.0000			1.94	0.35
38年目	H 68	0.1712	90.0000			1.94	0.33
39年目	H 69	0.1646	90.0000			1.94	0.32
40年目	H 70	0.1583	90.0000			1.94	0.31
41年目	H 71	0.1522	90.0000			1.94	0.30
42年目	H 72	0.1463	90.0000			1.94	0.28
43年目	H 73	0.1407	90.0000			1.94	0.27
44年目	H 74	0.1353	90.0000			1.94	0.26
45年目	H 75	0.1301	90.0000			1.94	0.25
46年目	H 76	0.1251	90.0000			1.94	0.24
47年目	H 77	0.1203	90.0000			1.94	0.23
48年目	H 78	0.1157	90.0000			1.94	0.22
49年目	H 79	0.1112	90.0000	−9.67	−1.08	1.94	0.22
合　計				190.03	176.47	97.00	32.94

単純事業費計	199.70	97.00

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、
必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として
評価を実施。)

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

様式－４

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名：鷹巣大館道路Ⅱ期（残事業）

単価(億円)	延長(km)	単純価値(億円)
0.36	5.6	2.04

年次	年度	割戻率	GDP デフレータ	事業費(億円) 単純価値	事業費(億円) 現在価値	維持管理費(億円) 単純価値	維持管理費(億円) 現在価値
-6年目	H 24	0.9615	90.0000	14.41	13.86		
-5年目	H 25	0.9246	90.0000	13.05	12.07		
-4年目	H 26	0.8890	90.0000	35.56	31.61		
-3年目	H 27	0.8548	90.0000	35.24	30.12		
-2年目	H 28	0.8219	90.0000	44.91	36.91		
-1年目	H 29	0.7903	90.0000	25.41	20.08		
供用年次	H 30	0.7599	90.0000			1.94	1.47
1年目	H 31	0.7307	90.0000			1.94	1.42
2年目	H 32	0.7026	90.0000			1.94	1.36
3年目	H 33	0.6756	90.0000			1.94	1.31
4年目	H 34	0.6496	90.0000			1.94	1.26
5年目	H 35	0.6246	90.0000			1.94	1.21
6年目	H 36	0.6006	90.0000			1.94	1.17
7年目	H 37	0.5775	90.0000			1.94	1.12
8年目	H 38	0.5553	90.0000			1.94	1.08
9年目	H 39	0.5339	90.0000			1.94	1.04
10年目	H 40	0.5134	90.0000			1.94	1.00
11年目	H 41	0.4936	90.0000			1.94	0.96
12年目	H 42	0.4746	90.0000			1.94	0.92
13年目	H 43	0.4564	90.0000			1.94	0.89
14年目	H 44	0.4388	90.0000			1.94	0.85
15年目	H 45	0.4220	90.0000			1.94	0.82
16年目	H 46	0.4057	90.0000			1.94	0.79
17年目	H 47	0.3901	90.0000			1.94	0.76
18年目	H 48	0.3751	90.0000			1.94	0.73
19年目	H 49	0.3607	90.0000			1.94	0.70
20年目	H 50	0.3468	90.0000			1.94	0.67
21年目	H 51	0.3335	90.0000			1.94	0.65
22年目	H 52	0.3207	90.0000			1.94	0.62
23年目	H 53	0.3083	90.0000			1.94	0.60
24年目	H 54	0.2965	90.0000			1.94	0.58
25年目	H 55	0.2851	90.0000			1.94	0.55
26年目	H 56	0.2741	90.0000			1.94	0.53
27年目	H 57	0.2636	90.0000			1.94	0.51
28年目	H 58	0.2534	90.0000			1.94	0.49
29年目	H 59	0.2437	90.0000			1.94	0.47
30年目	H 60	0.2343	90.0000			1.94	0.45
31年目	H 61	0.2253	90.0000			1.94	0.44
32年目	H 62	0.2166	90.0000			1.94	0.42
33年目	H 63	0.2083	90.0000			1.94	0.40
34年目	H 64	0.2003	90.0000			1.94	0.39
35年目	H 65	0.1926	90.0000			1.94	0.37
36年目	H 66	0.1852	90.0000			1.94	0.36
37年目	H 67	0.1780	90.0000			1.94	0.35
38年目	H 68	0.1712	90.0000			1.94	0.33
39年目	H 69	0.1646	90.0000			1.94	0.32
40年目	H 70	0.1583	90.0000			1.94	0.31
41年目	H 71	0.1522	90.0000			1.94	0.30
42年目	H 72	0.1463	90.0000			1.94	0.28
43年目	H 73	0.1407	90.0000			1.94	0.27
44年目	H 74	0.1353	90.0000			1.94	0.26
45年目	H 75	0.1301	90.0000			1.94	0.25
46年目	H 76	0.1251	90.0000			1.94	0.24
47年目	H 77	0.1203	90.0000			1.94	0.23
48年目	H 78	0.1157	90.0000			1.94	0.22
49年目	H 79	0.1112	90.0000	0.00	0.00	1.94	0.22
合　計				168.58	144.65	97.00	32.94

単純事業費計	168.58	97.00

注1）事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、
必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
（投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として
評価を実施。）

注2）評価対象期間最終年において、用地残存価値（割引後の用地費）を控除している。

様式－５

便益の現在価値算定表

箇所名：鷹巣大館道路Ⅱ期（全体、残事業）

年次	年度（基準年）H23	総走行台キロの年次別伸び率（北東北ブロック）				割戻率	GDPデフレータ	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合計(億円)	
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全車	(A)		乗用車類	小型貨物	普通貨物	①計	現在価値①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値②×(A)	③	現在価値③×(A)	便益合計(①～③)	現在価値割引率4%
供用開始年次	H 30	0.99285	0.98762	0.99588	0.99216	0.7599	90.0000	17.48	6.82	6.02	30.32	23.04	4.28	0.71	3.03	8.02	6.09	2.72	2.07	41.06	31.20
1年目	H 31	0.99280	0.98747	0.99586	0.99210	0.7307	90.0000	17.35	6.73	6.00	30.08	21.98	4.25	0.70	3.02	7.97	5.82	2.70	1.97	40.75	29.78
2年目	H 32	0.99275	0.98731	0.99584	0.99204	0.7026	90.0000	17.22	6.64	5.98	29.84	20.97	4.22	0.69	3.01	7.92	5.56	2.68	1.88	40.44	28.41
3年目	H 33	0.99348	0.98817	0.99792	0.99295	0.6756	90.0000	17.11	6.56	5.97	29.64	20.02	4.19	0.68	3.00	7.87	5.32	2.66	1.80	40.17	27.14
4年目	H 34	0.99343	0.98803	0.99792	0.99290	0.6496	90.0000	17.00	6.48	5.96	29.44	19.12	4.16	0.67	2.99	7.82	5.08	2.64	1.71	39.90	25.92
5年目	H 35	0.99339	0.98788	0.99791	0.99285	0.6246	90.0000	16.89	6.40	5.95	29.24	18.26	4.13	0.66	2.98	7.77	4.85	2.62	1.64	39.63	24.75
6年目	H 36	0.99335	0.98773	0.99791	0.99280	0.6006	90.0000	16.78	6.32	5.94	29.04	17.44	4.10	0.65	2.97	7.72	4.64	2.60	1.56	39.36	23.64
7年目	H 37	0.99330	0.98758	0.99790	0.99275	0.5775	90.0000	16.67	6.24	5.93	28.84	16.66	4.07	0.64	2.96	7.67	4.43	2.58	1.49	39.09	22.57
8年目	H 38	0.99326	0.98743	0.99790	0.99270	0.5553	90.0000	16.56	6.16	5.92	28.64	15.90	4.04	0.63	2.95	7.62	4.23	2.56	1.42	38.82	21.56
9年目	H 39	0.99321	0.98727	0.99789	0.99264	0.5339	90.0000	16.45	6.08	5.91	28.44	15.18	4.01	0.62	2.94	7.57	4.04	2.54	1.36	38.55	20.58
10年目	H 40	0.99317	0.98710	0.99789	0.99259	0.5134	90.0000	16.34	6.00	5.90	28.24	14.50	3.98	0.61	2.93	7.52	3.86	2.52	1.29	38.28	19.65
11年目	H 41	0.99312	0.98693	0.99789	0.99253	0.4936	90.0000	16.23	5.92	5.89	28.04	13.84	3.95	0.60	2.92	7.47	3.69	2.50	1.23	38.01	18.76
12年目	H 42	0.99307	0.98676	0.99788	0.99248	0.4746	90.0000	16.12	5.84	5.88	27.84	13.21	3.92	0.59	2.91	7.42	3.52	2.48	1.18	37.74	17.91
13年目	H 43	0.98910	0.99319	1.00103	0.99133	0.4564	90.0000	15.94	5.80	5.89	27.63	12.61	3.88	0.59	2.91	7.38	3.37	2.46	1.12	37.47	17.10
14年目	H 44	0.98898	0.99315	1.00103	0.99125	0.4388	90.0000	15.76	5.76	5.90	27.42	12.03	3.84	0.59	2.91	7.34	3.22	2.44	1.07	37.20	16.32
15年目	H 45	0.98886	0.99310	1.00102	0.99117	0.4220	90.0000	15.58	5.72	5.91	27.21	11.48	3.80	0.59	2.91	7.30	3.08	2.42	1.02	36.93	15.58
16年目	H 46	0.98874	0.99305	1.00102	0.99110	0.4057	90.0000	15.40	5.68	5.92	27.00	10.95	3.76	0.59	2.91	7.26	2.95	2.40	0.97	36.66	14.87
17年目	H 47	0.98861	0.99300	1.00102	0.99102	0.3901	90.0000	15.22	5.64	5.93	26.79	10.45	3.72	0.59	2.91	7.22	2.82	2.38	0.93	36.39	14.20
18年目	H 48	0.98848	0.99295	1.00102	0.99093	0.3751	90.0000	15.04	5.60	5.94	26.58	9.97	3.68	0.59	2.91	7.18	2.69	2.36	0.89	36.12	13.55
19年目	H 49	0.98834	0.99290	1.00102	0.99085	0.3607	90.0000	14.86	5.56	5.95	26.37	9.51	3.64	0.59	2.91	7.14	2.58	2.34	0.84	35.85	12.93
20年目	H 50	0.98820	0.99285	1.00102	0.99077	0.3468	90.0000	14.68	5.52	5.96	26.16	9.07	3.60	0.59	2.91	7.10	2.46	2.32	0.80	35.58	12.34
21年目	H 51	0.98806	0.99280	1.00102	0.99068	0.3335	90.0000	14.50	5.48	5.97	25.95	8.65	3.56	0.59	2.91	7.06	2.35	2.30	0.77	35.31	11.78
22年目	H 52	0.98792	0.99275	1.00102	0.99059	0.3207	90.0000	14.32	5.44	5.98	25.74	8.25	3.52	0.59	2.91	7.02	2.25	2.28	0.73	35.04	11.24
23年目	H 53	0.98777	0.99270	1.00102	0.99050	0.3083	90.0000	14.14	5.40	5.99	25.53	7.87	3.48	0.59	2.91	6.98	2.15	2.26	0.70	34.77	10.72
24年目	H 54	0.98762	0.99264	1.00102	0.99041	0.2965	90.0000	13.96	5.36	6.00	25.32	7.51	3.44	0.59	2.91	6.94	2.06	2.24	0.66	34.50	10.23
25年目	H 55	0.98747	0.99259	1.00101	0.99032	0.2851	90.0000	13.79	5.32	6.01	25.12	7.16	3.40	0.59	2.91	6.90	1.97	2.22	0.63	34.24	9.76
26年目	H 56	0.98731	0.99253	1.00101	0.99022	0.2741	90.0000	13.62	5.28	6.02	24.92	6.83	3.36	0.59	2.91	6.86	1.88	2.20	0.60	33.98	9.31
27年目	H 57	0.98714	0.99248	1.00101	0.99013	0.2636	90.0000	13.44	5.24	6.03	24.71	6.51	3.32	0.59	2.91	6.82	1.80	2.18	0.57	33.71	8.89
28年目	H 58	0.98698	0.99242	1.00101	0.99003	0.2534	90.0000	13.27	5.20	6.04	24.51	6.21	3.28	0.59	2.91	6.78	1.72	2.16	0.55	33.45	8.48
29年目	H 59	0.98680	0.99236	1.00101	0.98993	0.2437	90.0000	13.09	5.16	6.05	24.30	5.92	3.24	0.59	2.91	6.74	1.64	2.14	0.52	33.18	8.09
30年目	H 60	0.98663	0.99230	1.00101	0.98983	0.2343	90.0000	12.91	5.12	6.06	24.09	5.64	3.20	0.59	2.91	6.70	1.57	2.12	0.50	32.91	7.71
31年目	H 61	0.98645	0.99224	1.00101	0.98972	0.2253	90.0000	12.74	5.08	6.07	23.89	5.38	3.16	0.59	2.91	6.66	1.50	2.10	0.47	32.65	7.36
32年目	H 62	0.98626	0.99218	1.00101	0.98962	0.2166	90.0000	12.56	5.04	6.08	23.68	5.13	3.12	0.59	2.91	6.62	1.43	2.08	0.45	32.38	7.01
33年目	H 63	0.98607	0.99212	1.00101	0.98951	0.2083	90.0000	12.39	5.00	6.09	23.48	4.89	3.08	0.59	2.91	6.58	1.37	2.06	0.43	32.12	6.69
34年目	H 64	0.98587	0.99206	1.00101	0.98940	0.2003	90.0000	12.21	4.96	6.10	23.27	4.66	3.04	0.59	2.91	6.54	1.31	2.04	0.41	31.85	6.38
35年目	H 65	0.98567	0.99199	1.00100	0.98928	0.1926	90.0000	12.04	4.92	6.11	23.07	4.44	3.00	0.59	2.91	6.50	1.25	2.02	0.39	31.59	6.08
36年目	H 66	0.98546	0.99193	1.00100	0.98917	0.1852	90.0000	11.86	4.88	6.12	22.86	4.23	2.96	0.59	2.91	6.46	1.20	2.00	0.37	31.32	5.80
37年目	H 67	0.98525	0.99186	1.00100	0.98905	0.1780	90.0000	11.69	4.84	6.13	22.66	4.03	2.92	0.59	2.91	6.42	1.14	1.98	0.35	31.06	5.53
38年目	H 68	0.98503	0.99180	1.00100	0.98893	0.1712	90.0000	11.52	4.80	6.14	22.46	3.85	2.88	0.59	2.91	6.38	1.09	1.96	0.34	30.80	5.27
39年目	H 69	0.98480	0.99173	1.00100	0.98880	0.1646	90.0000	11.34	4.76	6.15	22.25	3.66	2.84	0.59	2.91	6.34	1.04	1.94	0.32	30.53	5.03
40年目	H 70	0.98456	0.99166	1.00100	0.98867	0.1583	90.0000	11.16	4.72	6.16	22.04	3.49	2.80	0.59	2.91	6.30	1.00	1.92	0.30	30.26	4.79
41年目	H 71	0.98432	0.99159	1.00100	0.98854	0.1522	90.0000	10.99	4.68	6.17	21.84	3.32	2.76	0.59	2.91	6.26	0.95	1.90	0.29	30.00	4.57
42年目	H 72	0.98407	0.99152	1.00100	0.98841	0.1463	90.0000	10.81	4.64	6.18	21.63	3.16	2.72	0.58	2.91	6.21	0.91	1.88	0.28	29.72	4.35
43年目	H 73	0.98381	0.99145	1.00100	0.98828	0.1407	90.0000	10.63	4.60	6.19	21.42	3.01	2.68	0.58	2.91	6.17	0.87	1.86	0.26	29.45	4.14
44年目	H 74	0.98355	0.99137	1.00100	0.98814	0.1353	90.0000	10.46	4.56	6.20	21.22	2.87	2.64	0.57	2.91	6.12	0.83	1.84	0.25	29.18	3.95
45年目	H 75	0.98327	0.99130	1.00099	0.98799	0.1301	90.0000	10.29	4.52	6.21	21.02	2.73	2.60	0.57	2.91	6.08	0.79	1.82	0.24	28.92	3.76
46年目	H 76	0.98299	0.99122	1.00099	0.98785	0.1251	90.0000	10.11	4.48	6.22	20.81	2.60	2.56	0.56	2.91	6.03	0.75	1.80	0.23	28.64	3.58
47年目	H 77	0.98269	0.99114	1.00099	0.98770	0.1203	90.0000	9.93	4.44	6.23	20.60	2.48	2.52	0.56	2.91	5.99	0.72	1.78	0.21	28.37	3.41
48年目	H 78	0.98239	0.99106	1.00099	0.98755	0.1157	90.0000	9.76	4.40	6.24	20.40	2.36	2.48	0.55	2.91	5.94	0.69	1.76	0.20	28.10	3.25
49年目	H 79	0.98207	0.99098	1.00099	0.98739	0.1112	90.0000	9.59	4.36	6.25	20.20	2.25	2.44	0.55	2.91	5.90	0.66	1.74	0.19	27.84	3.10
合計								689.80	270.15	301.84	1,261.79	455.28	170.22	30.08	146.28	346.58	123.19	111.50	40.45	1,719.87	619.02

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道7号	鷹巣大館道路（Ⅱ期）	2	5.6km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額（百万円）	備考
①工事費					16,550	
	改良費				6,057	
		土工	m3	2,325,152	3,637	切土(1,252,600m3)、盛土(1,072,552m3)
		軟弱地盤改良工	m3			
		法面工	㎡	157,922	478	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	33	
		管渠工	m	33	5	
		函渠工	m	1,052	963	
		排水工	m	40,720	810	
		雑工	式	1	131	機能補償道路等
	橋梁費				4,185	
		100m以上	m	137	870	1橋
		100m未満	m	196	3,315	5橋、こ道橋2箇所
	トンネル費				1,930	
		NATM	m	564	1,930	1本
		シールド	m			
	IC・JCT費				1,539	
		IC	箇所	2	1,539	ダイヤモンド型(2)
		JCT	箇所			
	舗装費				1,092	
		車道舗装	㎡	76,052	1,092	
		歩道舗装	㎡			
	付帯施設費				1,747	
		交通管理施設工	式	1	1,747	防護柵工等
		遮音壁	m			
②用地及補償費					1,375	
	用地費		㎡	364,997	967	
		宅地	㎡	14,675	100	
		田畑	㎡	134,223	624	
		山林・原野	㎡	215,117	243	
		その他	㎡	983	1	
	補償費		式	1	408	
③間接経費			式	1	2,975	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費					20,900	

【単価等について】

〇工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

〇用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道7号	鷹巣大館道路（Ⅱ期）	2	5.6km

■残事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額（百万円）	備考
①工事費					15,106	
	改良費				5,422	
		土工	m3	1,939,192	3,193	切土(1,092,200m3)、盛土(846,992m3)
		軟弱地盤改良工	m3			
		法面工	㎡	157,922	478	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	33	
		管渠工	m	1	0	
		函渠工	m	879	809	
		排水工	m	40,720	810	
		雑工	式	1	99	機能補償道路等
	橋梁費				4,065	
		100m以上	m	137	870	1橋
		100m未満	m	196	3,195	5橋、こ道橋2箇所
	トンネル費				1,240	
		NATM	m	564	1,240	1本
		シールド	m			
	IC・JCT費				1,539	
		IC	箇所	2	1,539	ダイヤモンド型(2)
		JCT	箇所			
	舗装費				1,092	
		車道舗装	㎡	76,052	1,092	
		歩道舗装	㎡			
	付帯施設費				1,747	
		交通管理施設工	式	1	1,747	防護柵工等
		遮音壁	m			
②用地及補償費					71	
	用地費		㎡			
		宅地	㎡			
		田畑	㎡			
		山林・原野	㎡			
		その他	㎡			
	補償費		式	1	71	
③間接経費			式	1	2,520	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費					17,697	

【単価等について】

〇工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

〇用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道7号	鷹巣大館道路Ⅱ期	2	5.6km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 （百万円/年）	備考
維持費	km	5.6	47	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	157	路面補修、構造物の点検・補修等
維持管理費合計			204	

【単価等について】

〇維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。